

超過勤務を減らすための日課や打ち合わせの見直しに取り組んだ実践

高山市立朝日中学校

1. 目標

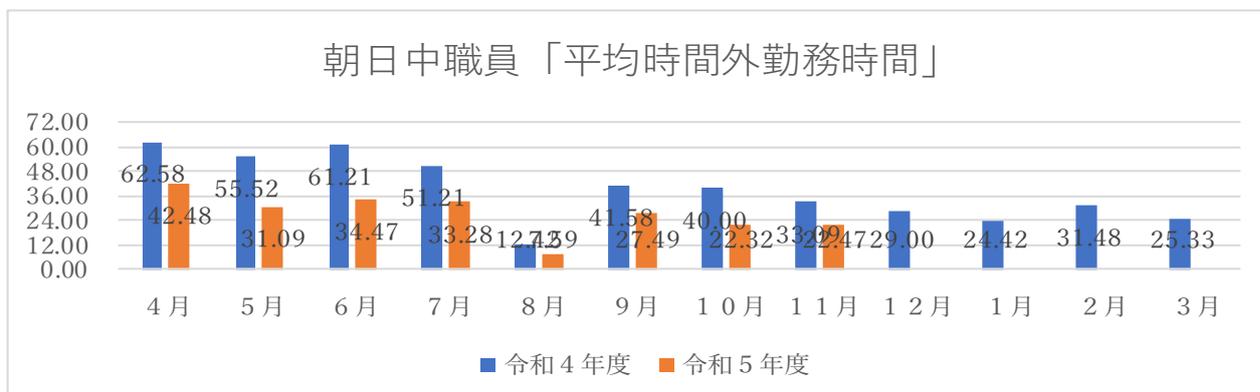
時間外勤務が月45時間を超えないような働き方の仕組みを構築し、昨年度の反省を生かした上で、諸問題を組織で解決できる学校運営を目指す。

2. 実践の内容

- ・「諸会議、打ち合わせの見直し」として、月曜日は会議日として生徒の下校時間を早め、会議に充てたり、授業研究や校務分掌の作業に充てたりした。打ち合わせを原則行わず、日報を利用して教師間の共通理解を進めた。会議を行う際には、資料を事前配布し、目標提案時間を設定した。
- ・小中の合同研究の柱である、「学習・道徳」、「生徒指導・特活」、「教育相談・特別支援」ごとに、積極的に相談し合えるようにメンターチームを作り、課題に対して先手を打ち組織で解決した。
- ・「部活動の見直し」として、複数顧問制として一人にかかる負担を軽減し、さらに勤務時間内に部活動を行えるよう日課を変更した。
- ・「日課の見直し」として、登校時刻が必要以上に早くならないよう生徒の登校時刻を設定した。また、スクールバスの運行時間を調整し、最終下校を勤務時間内とした。

3. 評価結果

上記の実践を行った結果、以下のような時間外勤務時間の減少がみられた。



4. 成果と課題

(1) 成果

- ・校務分掌上の相談や教科の指導について、様々なことが相談できる環境ができたことで、負担感が減った。
- ・事前に報連相を行うことで、全員が集まらなければならない会議の時間が短縮でき、生徒について気軽に話し合う時間を生み出した。
- ・月80時間を超えていた教職員の時間外勤務が減った。

(2) 課題

- ・自らの人間性や創造性を高め、子どもたちに対してさらに効果的な教育活動を行うことができるように、学校全体で考えていきたい。